

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 三井製糖株式会社

コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井原芳隆

問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 佐藤公昭

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3663-3111

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	39,179	0.5	3,429	4.6	3,655	6.6	2,239	6.9
21年3月期第2四半期	38,985	—	3,278	—	3,429	—	2,094	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	16.34	—
21年3月期第2四半期	15.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	69,626	48,751	68.9	351.49
21年3月期	68,592	47,429	68.0	339.37

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 47,948百万円 21年3月期 46,671百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,400	1.7	5,550	△13.5	5,980	△8.3	3,670	△7.2	26.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	141,667,400株	21年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	5,250,880株	21年3月期	4,145,475株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	137,044,074株	21年3月期第2四半期	137,539,102株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月14日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気対策効果や国内外の在庫調整の進展などから輸出や生産に持ち直しの動きが見られるものの、内需の回復は弱く、企業による設備投資は抑制傾向にあります。雇用情勢や所得環境が低迷する中、消費者の生活防衛意識は一層強まり、食品業界を取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような環境の中、当社グループとして、継続的なコスト削減に取り組みつつ、基礎甘味料である砂糖を中心とした製品の安定供給に努めてまいりました結果、下記の通りの業績となりました。

売上高	39,179百万円	(前年同期比 0.5%増)
営業利益	3,429百万円	(前年同期比 4.6%増)
経常利益	3,655百万円	(前年同期比 6.6%増)
四半期純利益	2,239百万円	(前年同期比 6.9%増)

事業の種類別セグメントの概況は以下の通りであります。

## (砂糖事業)

砂糖事業におきましては、コスト面では、エネルギーや資材は落ち着きを見せましたが、インドの減産やブラジルの生産遅れによる海外粗糖相場の高騰により、原料コストは期を通じて上昇を続けました。当社としては、慎重かつ適切な原料調達を進め、経費管理を徹底し費用圧縮に努めました。販売面では、天候不順や消費低迷の中、適正価格での販売に取り組むとともに、「スプーン印」50周年キャンペーンを展開し販売促進に注力しました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は35,107百万円、営業利益は3,790百万円となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中価格（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期初163～164円 安値163～164円 高値169～170円 期末169～170円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖現物、1ポンド当たり）

期初13.68セント 安値13.34セント 高値25.02セント 期末24.85セント

## (食品素材事業)

食品素材事業におきましては、消費低迷の影響と価格競争激化により、連結子会社も含め総じて苦戦する中、価格条件の改善や経費削減に注力しました。

以上の結果、食品素材事業の売上高は3,309百万円、営業利益は183百万円となりました。

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境となる中、引き続き社有不動産の効率的活用と経費節減に努めました。

以上の結果、売上高は761百万円、営業利益は472百万円となりました。

営業外損益においては、国内甘蔗糖会社の増益により持分法による投資利益が前年同期を上回ったことなどにより改善し、経常利益は3,655百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### 〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比1,034百万円増加し、69,626百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

#### ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,484百万円増加し20,166百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加831百万円、原材料及び貯蔵品の増加869百万円等があったことによるものであります。

#### ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比450百万円減少し49,460百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による増加と減価償却による減少等があったことによるものであります。

#### ③負債

負債は、前連結会計年度末比287百万円減少し20,875百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加3,153百万円等があった一方で、借入金の減少2,480百万円、未払費用の減少691百万円、退職給付引当金の減少125百万円等があったことによるものであります。

#### ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,321百万円増加し48,751百万円となりました。これは主として、四半期純利益2,239百万円、剰余金の配当550百万円、自己株式の取得348百万円等によるものであります。なお、自己資本比率は68.9%と0.8ポイント改善しております。

### 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は3,958百万円となり、前連結会計年度末と比較して831百万円の増加となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は4,988百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益3,689百万円、減価償却費1,102百万円及び仕入債務の増加額3,112百万円等により資金が増加した一方で、たな卸資産の増加額471百万円、未払費用の減少額691百万円及び法人税等の支払額1,192百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は773百万円となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入212百万円等により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出1,000百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は3,383百万円となりました。これは主として、借入金の純減少2,480百万円、配当金の支払額548百万円、自己株式の取得による支出348百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、期首公表数値を上回っておりますが、今後の動向につきましては、景気、需要の先行きは依然不透明であります。また期中より高騰を続けている海外粗糖相場はコスト圧迫要因となっており、エネルギー価格や為替動向も予断を許さない状況にあります。このような状況下、当社グループとして、引き続き適正価格販売とコスト削減に努力してまいります。当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成22年3月期通期連結業績予想につきましては、下記の通りといたします。

平成22年3月期通期見通し		前期比
売上高	78,400百万円	1,280百万円増(1.7%増)
営業利益	5,550百万円	863百万円減(13.5%減)
経常利益	5,980百万円	541百万円減(8.3%減)
当期純利益	3,670百万円	282百万円減(7.2%減)

#### (参考) 個別業績予想

平成22年3月期通期見通し		前期比
売上高	73,200百万円	1,155百万円増(1.6%増)
営業利益	5,140百万円	830百万円減(13.9%減)
経常利益	5,290百万円	657百万円減(11.1%減)
当期純利益	3,110百万円	467百万円減(13.1%減)

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,966	3,135
受取手形及び売掛金	4,445	4,427
商品及び製品	3,839	4,130
仕掛品	1,156	1,263
原材料及び貯蔵品	5,548	4,678
繰延税金資産	434	530
その他	788	529
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	20,166	18,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,871	23,771
減価償却累計額	△15,441	△15,162
建物及び構築物(純額)	8,429	8,609
機械装置及び運搬具	38,546	38,947
減価償却累計額	△30,769	△31,012
機械装置及び運搬具(純額)	7,777	7,935
工具、器具及び備品	1,599	1,583
減価償却累計額	△1,338	△1,330
工具、器具及び備品(純額)	260	253
土地	19,727	19,727
リース資産	44	—
減価償却累計額	△3	—
リース資産(純額)	40	—
建設仮勘定	3	107
有形固定資産合計	36,238	36,632
無形固定資産		
無形固定資産合計	50	54
投資その他の資産		
投資有価証券	11,816	11,780
長期貸付金	142	181
繰延税金資産	118	117
その他	1,113	1,163
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	13,170	13,223
固定資産合計	49,460	49,910
資産合計	69,626	68,592

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,875	4,721
短期借入金	—	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,157	1,300
リース債務	8	—
未払費用	2,046	2,737
未払法人税等	1,274	1,197
未払消費税等	343	125
役員賞与引当金	33	67
その他	637	1,008
流動負債合計	13,375	12,959
固定負債		
長期借入金	1,488	2,026
リース債務	34	—
繰延税金負債	1,071	979
退職給付引当金	2,275	2,400
長期預り保証金	1,228	1,290
その他	1,401	1,506
固定負債合計	7,499	8,202
負債合計	20,875	21,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,254
利益剰余金	42,032	40,344
自己株式	△1,964	△1,616
株主資本合計	48,405	47,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	267	110
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	△719	△502
評価・換算差額等合計	△456	△394
少数株主持分	802	758
純資産合計	48,751	47,429
負債純資産合計	69,626	68,592

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	38,985	39,179
売上原価	30,252	30,542
売上総利益	8,732	8,636
販売費及び一般管理費		
配送費	1,381	1,297
役員賞与引当金繰入額	35	33
退職給付引当金繰入額	60	81
その他	3,975	3,794
販売費及び一般管理費合計	5,454	5,207
営業利益	3,278	3,429
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	41	45
持分法による投資利益	194	221
雑収入	95	104
営業外収益合計	336	375
営業外費用		
支払利息	45	27
固定資産除却損	—	53
デリバティブ評価損	38	—
雑損失	101	68
営業外費用合計	185	149
経常利益	3,429	3,655
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44
固定資産処分益	72	—
特別利益合計	72	44
特別損失		
減損損失	—	9
投資有価証券売却損	1	—
たな卸資産評価損	33	—
特別損失合計	34	9
税金等調整前四半期純利益	3,466	3,689
法人税、住民税及び事業税	1,160	1,267
法人税等調整額	136	137
法人税等合計	1,296	1,404
少数株主利益	75	45
四半期純利益	2,094	2,239

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,466	3,689
減価償却費	1,071	1,102
固定資産処分損益(△は益)	△72	△0
減損損失	—	9
持分法による投資損益(△は益)	△194	△221
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△127	△125
受取利息及び受取配当金	△46	△49
支払利息	45	27
売上債権の増減額(△は増加)	173	△18
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26	△471
仕入債務の増減額(△は減少)	688	3,112
未払消費税等の増減額(△は減少)	△361	217
その他	△298	△1,121
小計	4,317	6,151
利息及び配当金の受取額	46	49
利息の支払額	△44	△27
法人税等の支払額	△1,440	△1,192
法人税等の還付額	—	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,878	4,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△854	△1,000
有形固定資産の売却による収入	73	1
投資有価証券の取得による支出	△143	△16
投資有価証券の売却による収入	68	212
その他	34	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△820	△773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,100	2,270
短期借入金の返済による支出	△3,300	△4,070
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	1,500	—
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△1,500	—
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△819	△680
自己株式の取得による支出	△7	△348
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	△548	△548
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,376	△3,383
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	681	831
現金及び現金同等物の期首残高	1,876	3,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,557	3,958

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報  
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,507	3,669	807	—	38,985	—	38,985
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	18	0	34	—	53	△53	—
計	34,526	3,669	842	—	39,038	△53	38,985
営業利益	3,756	130	447	—	4,334	△1,056	3,278

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,107	3,309	761	—	39,179	—	39,179
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	17	0	38	—	55	△55	—
計	35,124	3,309	800	—	39,234	△55	39,179
営業利益	3,790	183	472	—	4,446	△1,016	3,429

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は製品系列によって行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品及び商品等

事業区分	主要製品及び商品等
砂糖事業	精製糖、液糖、砂糖二次製品
食品素材事業	機能性甘味料(「パラチノース」「パラチニット」)、さとうきび抽出物、食品保存料、食品香料、食品用天然色素、寒天、カラギーナン
不動産事業	土地、店舗、倉庫、オフィスの賃貸業、倉庫業
その他事業	医薬品

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。